

取扱説明書及び部品表

 **Takakita**

マニプルレータ

DH4070

DH5070



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、マニアスプレッタの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。

ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げ販売店または当社にご注文ください。

(部品コードは裏表紙に記載してあります。)

- 本書は**注意**として知っておくと得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いています。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちにに取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。



警告サイン



印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	8
各部の名称とはたらき	9
トラクタへの装着	10
1. 装着のしかた	10
2. ユニバーサルジョイントの取付け	10
運転に必要な装置の取扱い	11
1. スタンドの操作について	11
2. コンベア送り装置の取扱い	12
3. マニアパンの取扱い	13
作 業 方 法	14
1. 作業手順と要点	14
2. 移動するときは	15
3. 堆肥の積込み方法	15
4. 散布できない物は	15
5. コンベア送り装置の調整	15
6. 散布量とトラクタ速度について	16
7. 散布方法について	16
8. 傾斜地での作業	17
作業前の点検について	18
1. 点検一覧表	18
簡単な手入れと処置	19
1. コンベアチェーンの張り調整	19
2. サブビータ駆動チェーンの張り調整	19
3. メインビータ駆動チェーンの張り調整	19
4. シェアボルトの交換	20
5. 洗浄について	20
6. タイヤの点検・修理	20
7. 各部の注油・グリスアップ	21
8. 長期格納時の手入れ	24
不 調 診 断	25
付 表	26
1. 主要諸元	26
2. 主な消耗部品	26
3. 給油	26



安全に作業するために

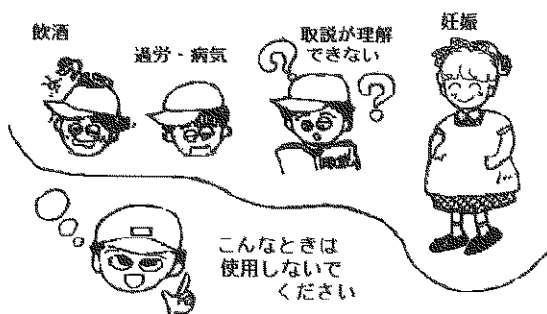
取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてから使用してください。
そして、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。機械を他人に貸すときまたは他人に運転させるときは、運転のしかたを教え、取扱説明書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

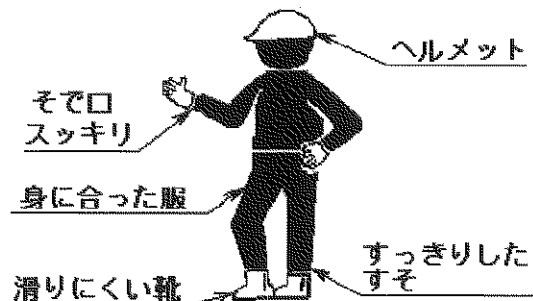
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき
- 妊娠しているとき
- 取扱説明書を熟知していない人



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

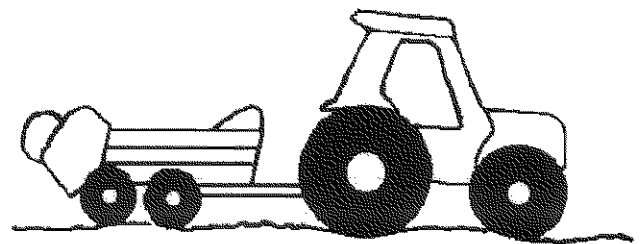
下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適応トラクタ

型 式	適応トラクタ kW(PS)
DH4070	29.4～58.8 (40～80)
DH5070	33.1～58.8 (45～80)

● ドローバ : スイングドローバ

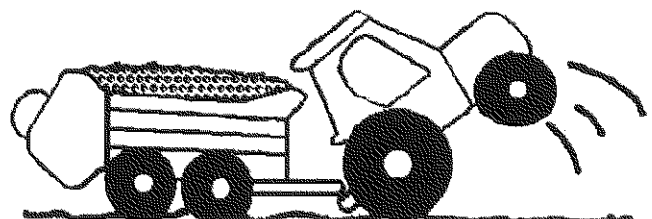
● PTO回転速度 : 540min⁻¹(rpm)



(4) 装着時の前後バランス確認

ドローバに取付けて堆肥などを積載したときのヒッチ荷重に、トラクタ質量を加えた値の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。

もし、不足するときはフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保するかなければ装着しないでください。



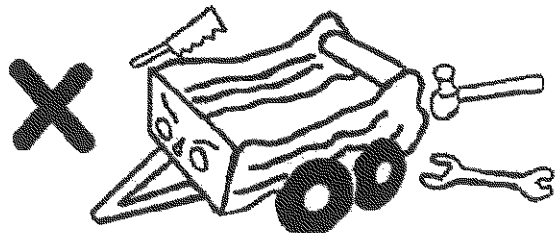
安全に作業するために

(5) バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けないでください。装着しないでください。

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。
また、改造しないでください。



(7) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしましょう

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

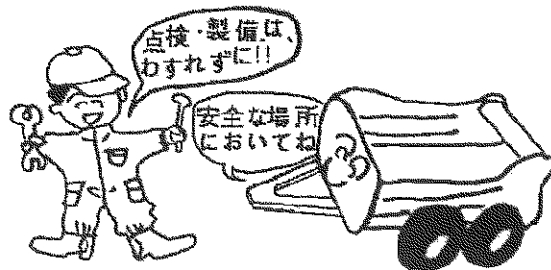


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除するときは交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所PTOを切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキ又は車止めをしてから行ってください。



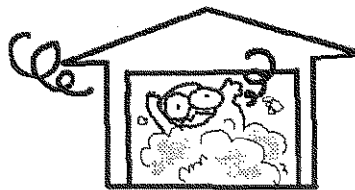
(4) 機械を常にきれいに

本機の性能を長期間維持するためにも機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときは、エンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



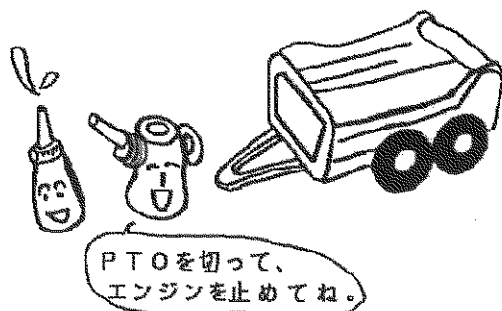
(6) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずPTOを切り、エンジンを止めてから行ってください。また、取外したカバー類は必ず元通りに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

安全に作業するために

(7)注油・給油するときは

PTOを切り、エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。

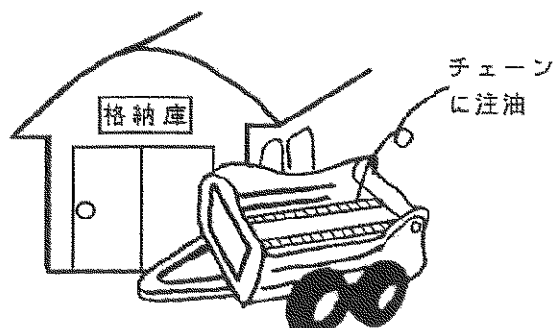


(8)高圧油に注意してください

- ① 高圧油による傷害を防止するために、配管・ホースなどの取外し前には、必ず圧力を抜いてください。
- ② 圧力をかける前に配管・ホースなどは、正しく確実に締め付けてください。
- ③ 非常に小さな穴からの漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で漏れを捜すことはやめてください。
- ④ 漏れによるヤケドやケガを負った場合は、速やかに医者の診療を受けてください。

(9)長期格納するときは

機械をきれいにし、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に車止めをして保管してください。

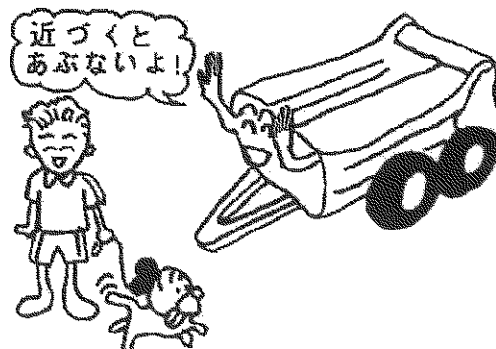


3.作業・移動をするときは

(1)人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

また、ビータの回転をするときは付近に人や器物がないことを確認してから行ってください。



(2)エンジンを始動するときは

クラッチを切り、変速レバーを中立にして周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。

周囲の安全を確かめ、急発進をしないよう徐々に発進してください。

守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(3)2人以上で作業するときは

2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。

(4)回転中のビータには触れない

回転しているビータに巻き込まれると重傷を負うことがあります。手や足で絶対に触れないようにしてください。

(5)シェアボルトの交換や巻き付き堆肥などを取り除くときは

PTOのクラッチを切り、エンジンを必ず止めてから行ってください。

安全に作業するために

(6) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードを出しすぎたり、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。

作業スピードは極力低くして作業を行ってください。

(7) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

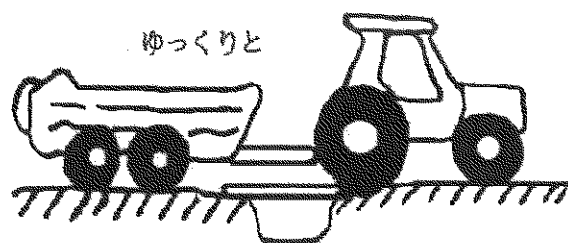
- ① 斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の作業は、必ず直角方向に走行してください。
- ② 傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

(8) キャビンなしのトラクタに装着して作業する場合

堆肥が前方に飛散し、目に入るおそれがありますので必ず保護メガネを着用して作業してください。

(9) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。

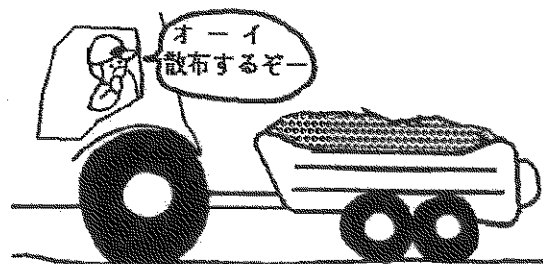


(10) 作業途中で運転席より離れるときは

機械を平坦な場所に降し、PTOを切り、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。また、本機に車止めをしてください。

(11) 堆肥を散布するときは

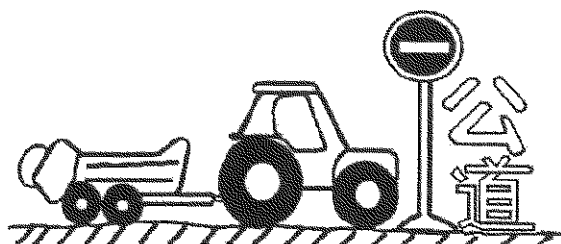
堆肥散布を始めるときは、後方に人や障害物のないことを十分確認し、散布距離を考慮して散布してください。



4. 道路走行・輸送するときは

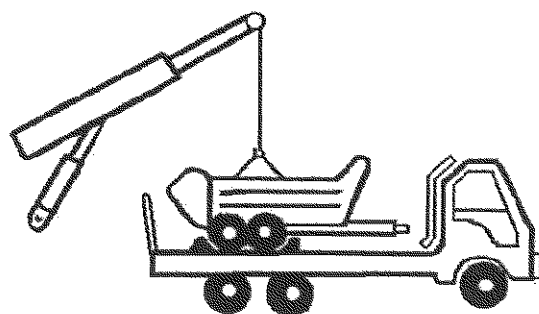
(1) トラクタに装着しての行動走行禁止

トラクタに本機を装着して行動を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。



(2) トラックなどへの積み込み・積降しは

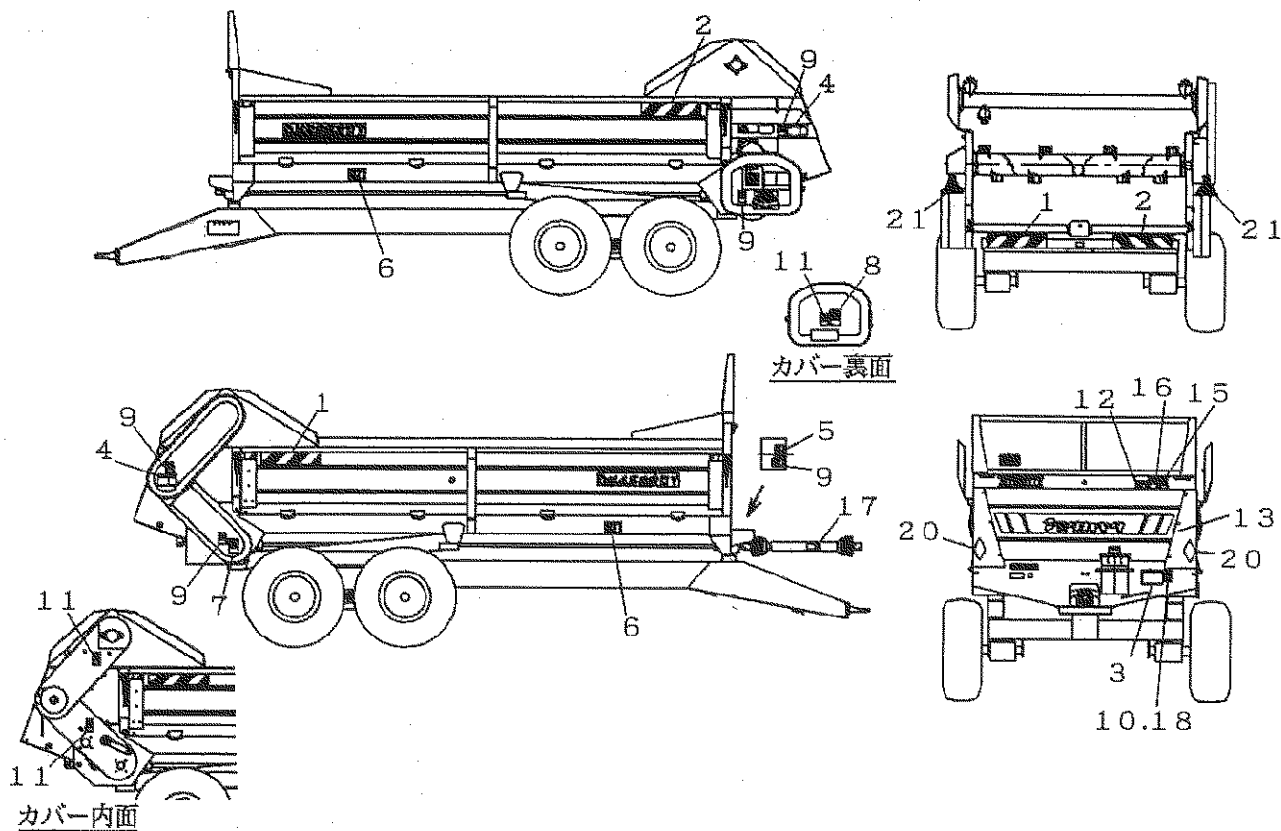
平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止、サイドブレーキをかけ車止めをしてください。積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。



以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で  印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

▲ 安全に作業するために

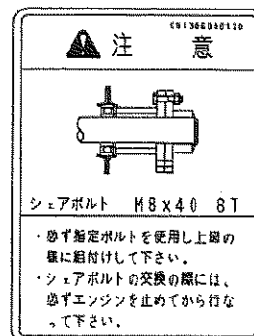
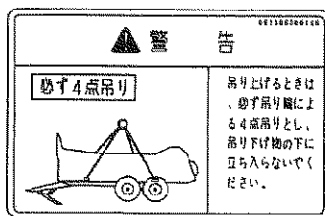
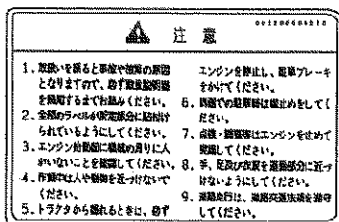
5. 警告ラベルの貼付位置



③ 部品コード 001206000210

⑥ 部品コード 001306000100

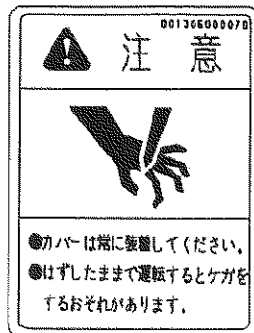
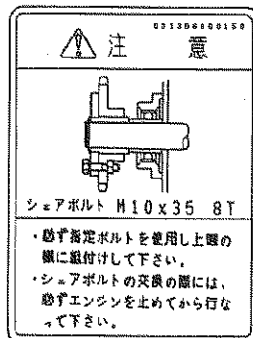
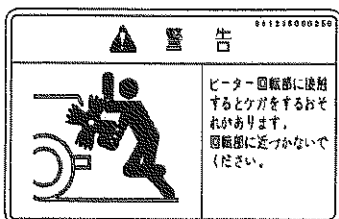
⑧ 部品コード 001306000120



④ 部品コード 001206000250

⑦ 部品コード 001306000150

⑨ 部品コード 001306000070

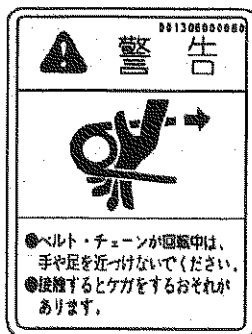


⑤ 部品コード 001306000960



▲ 安全に作業するために

⑪ 部品コード 001306000080



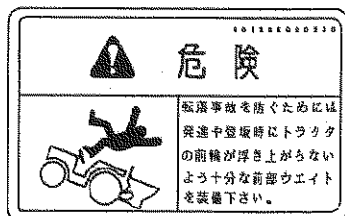
⑮ 部品コード 001306000210



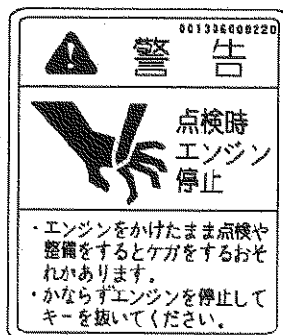
⑩ 部品コード 001306000130



⑫ 部品コード 001206000230



⑯ 部品コード 001306000220



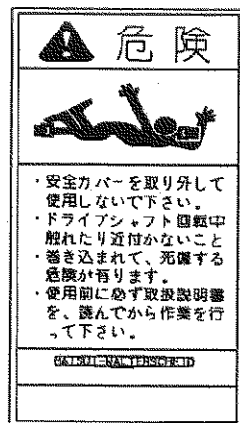
⑬ 部品コード 001306000140



⑬ 部品コード 001206000750



⑰ 部品コード 001306951010



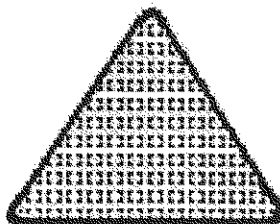


安全に作業するために

① 部品コード 001306000370



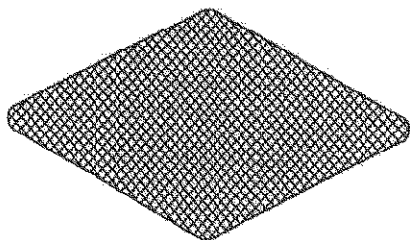
④ 部品コード 116722634000



② 部品コード 001306000380



③ 部品コード 001306000290



警告ラベルの取扱注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにし、傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、柔らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。
気泡は隅へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、堆肥散布にご使用ください。

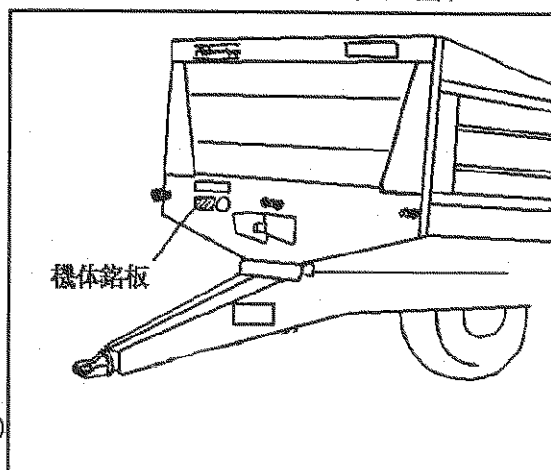
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所・出張所までご連絡ください。

(機体銘板貼付け位置図)



【連絡していただきたい内容】

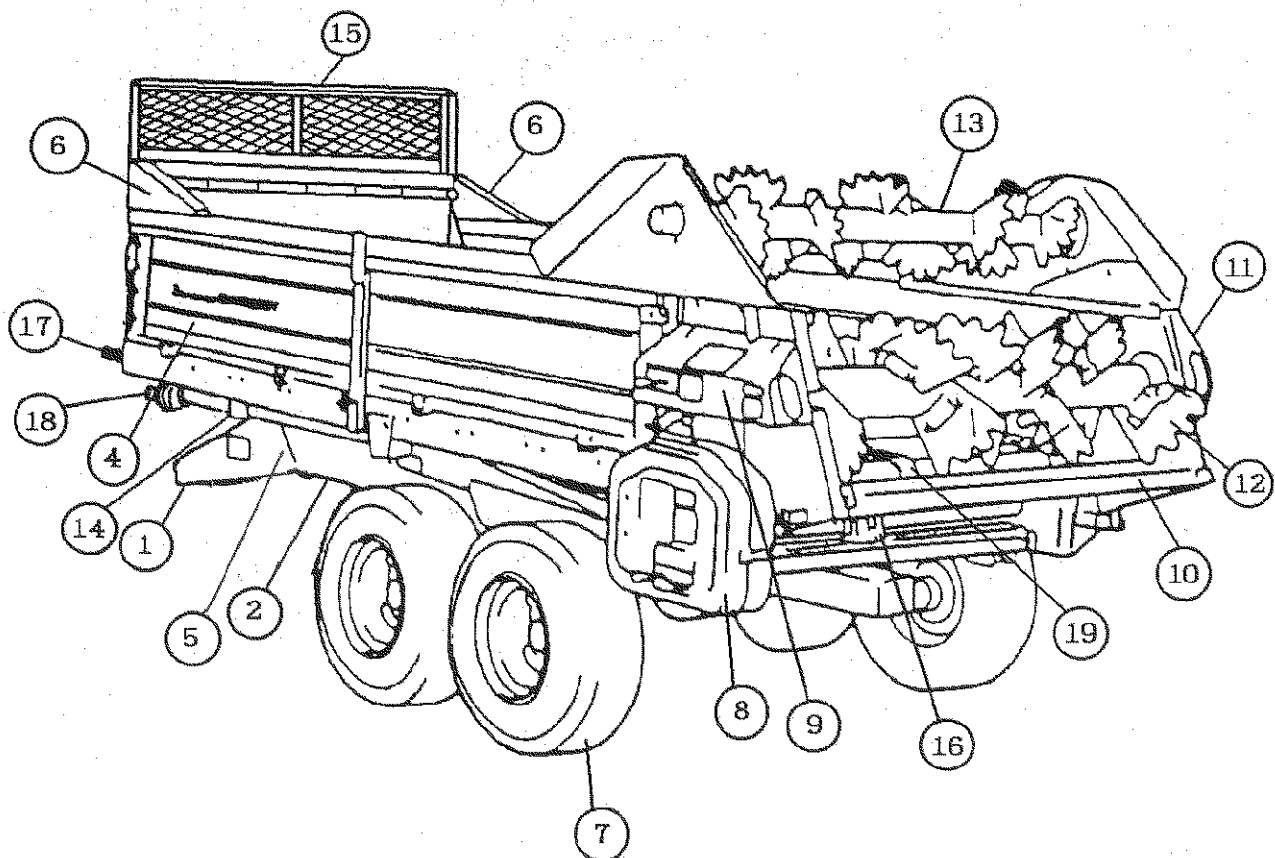
- 品名と型式
- 機体No (SER-No)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アールまたは約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体Noは、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後の参考のため、次の空欄に機体Noなどを記入しておいてください。】

品名	マニアスプレッダ		
型式			
機体No (SER-No)			
購入年月日	年	月	日
販売店名	TEL ()		

各部の名称とはたらき



番号	名 称	は た ら き
1	けん引かん	トラクタと連結する
2	フレーム	全体の荷重を支える
3		
4	左右側板	腐食に強い亜鉛メッキ側板
5	スタンド	トラクタとの装脱着時及び保管時に使用
6	スプラッシュガード	スラリー状堆肥のこぼれを防止する
7	タイヤ	低圧、広幅タイヤでほ場を傷めません
8	ギャカバー	床コンベアの送り変速を指定します
9	オートカバー	自動送り変速を指定します
10	マニアパン	詰った異物の清掃・除去を行うときに開く
11	チェンカバー	ビータを回転するチェンのカバー
12	メインビータ	羽根の回転で堆肥を細断散布する
13	補助ビータ	上層堆肥をならす
14	ジョイントカバー	入力軸の危険防止カバー
15	ストーンガード	トラクタへの石・堆肥の飛散防護をする
16	ミッション	トラクタの動力を床コンベア及びビータへ伝達する
17	テンションボルト	コンベアの張り調整を行う
18	ユニバーサルジョイント	トラクタからの動力を伝える
19	コンベア	堆肥を移送する

トラクタへの装着



警告

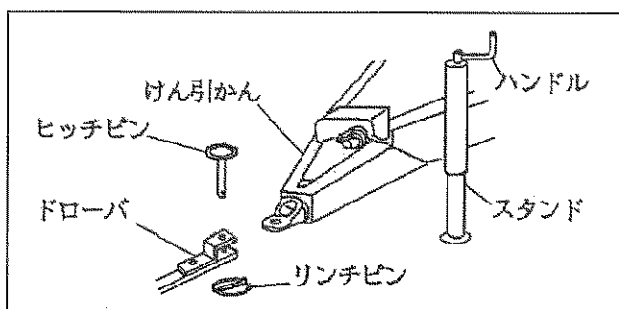
- トラクタへの本機装着は、平坦で安定した場所で行ってください。
- ドローバへの装着はトラクタの動きに十分注意し、2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントの接続は、必ずトラクタのエンジンを止め、PTOクラッチを切ってから確実に取付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

1. 装着のしかた

◆ドローバへの装着

- ①ドローバを一番短い位置にしてください。
- ②本機・けん引かんの取付部を、スタンドのハンドルを操作してトラクタのドローバの高さに合わせ、トラクタを後進し、穴位置を合わせてヒッチピンで確実に装着してください。



注意

- ドローバを最短にして、本機を装着してください。
- ヒッチピン挿入後は必ずリンチピンを入れ、抜け止めしてください。

◆スタンドを取り外して格納してください

スタンドを取り外し、フレームに格納してください。
(スタンド操作の頁参照)

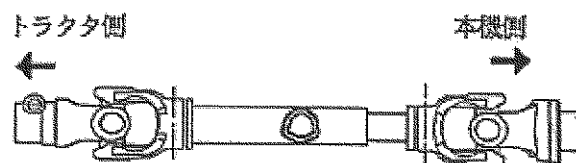
2. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタPTO軸に確実に取付けてください。

注意

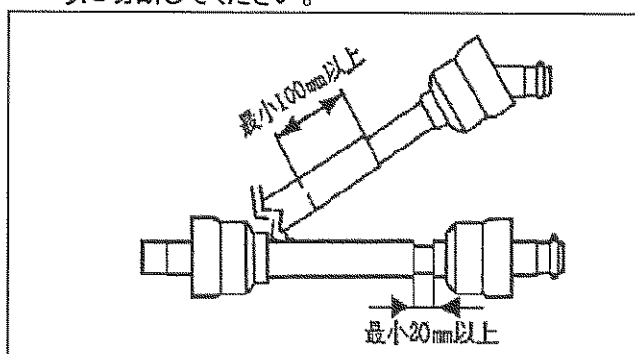
下図のように、シェアボルト付ヨークを本機側に取り付けてください。



◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは本機が旋回するときに変化します。

先に、ジョイントが長すぎないかを確認してください。長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



注意

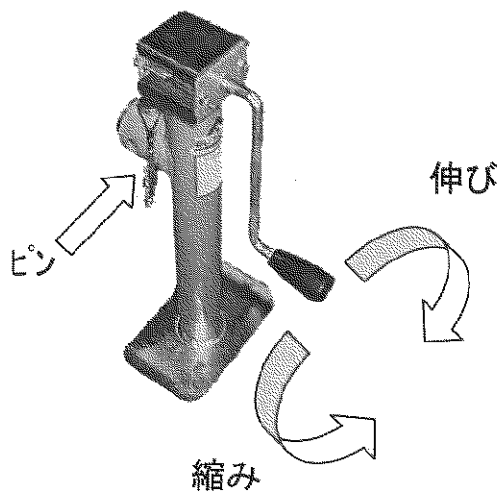
- 作業時のジョイント角度は最大30度を越えないよう調整をしてください。
30度を超えるとジョイントの破損の原因となります。

運転に必要な装置の取扱い

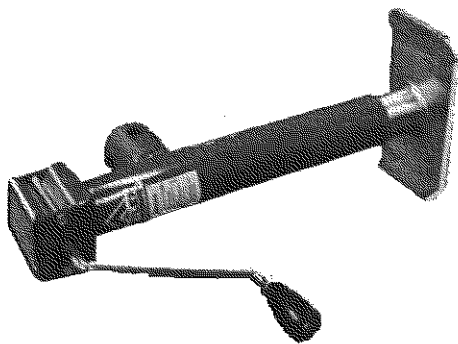
1. スタンドの取扱い

◆ スタンドの操作のしかた

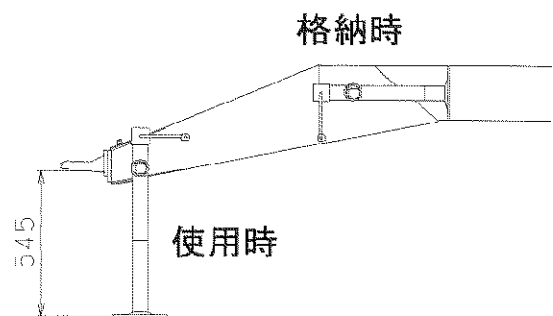
- ・スタンドはネジ式スタンドを使用しています。
(空車時しか使用できません。)
- ・ハンドルを右に回すと伸び、左に回すと縮みます。



- ・トラクタに連結後は、スタンドを上げ、地面との距離をとってピンを抜いてください。



- ・スタンドを一番短く縮めてフレーム奥の側面に格納します。格納後は、同じピンで固定して下さい。



スタンドの上げ高さは、最大545mm ですがそれ以上必要な場合は、スタンド下部に木製の大きめの台を入れて下さい。

運転に必要な装置の取扱い

4. コンベア送り装置の取扱い

本機の送り装置は自動と手動の切換えができます。

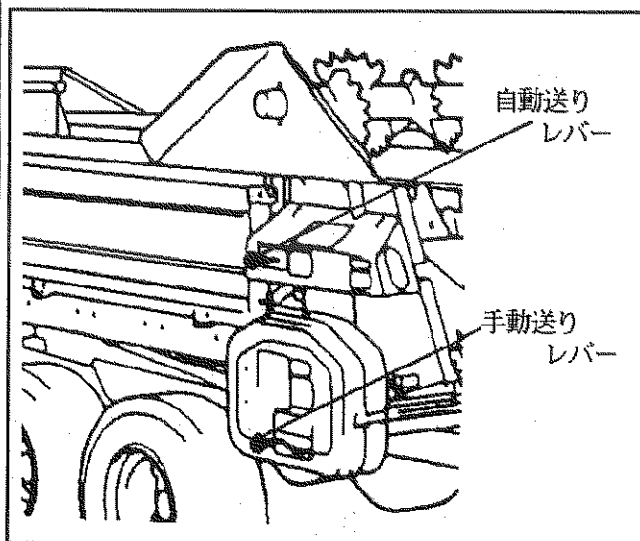
◆自動送り装置の取扱い

自動送り装置は堆肥がメインビータを押す力を感知し、コンベアの速度を変化（速く・遅く）させます。

●調整は、手動装置の送りレバーを「0」の位置にして、自動送り装置の送りレバーを希望する散布量に合った位置にしてください。

●微量散布およびスラリー状の堆肥、パーク堆肥を散布する場合は、手動送り装置での散布をお勧めします。

（軽い堆肥の場合、ビータを押す力が弱いために、自動が動かない場合があります。）



注意

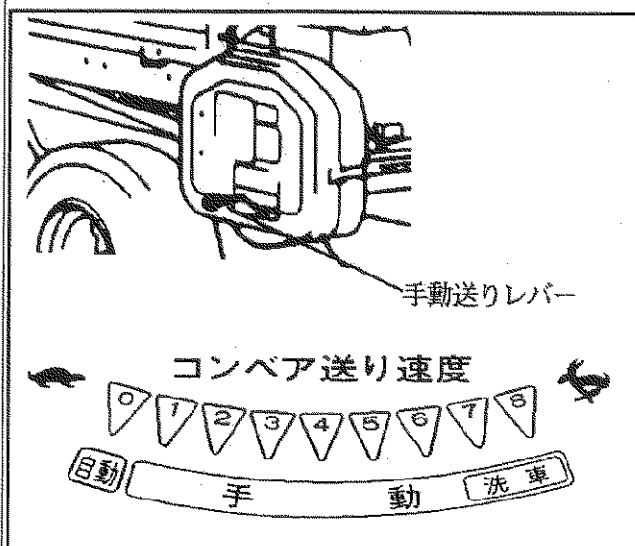
- 自動送り装置を使用するときは、必ず手動送りレバーを「0」の位置にしてください。
- 手動送り装置を同時使用すると、コンベア速度は変化しません。また、本機故障の原因となります。

注意

堆肥の中に石や木片・氷などの異物が混入していると、コンベア速度が極端に遅くなったり、停止することがあります。必ず積込み前に異物を取り除いてください。

◆手動送り装置の取扱い

手動送り装置を使用するときは、自動送り装置のレバーを「0」の位置にして、手動装置の送りレバーを希望するコンベア送り速度の位置にしてください。



注意

- 手動送り装置を使用するときは、必ず自動送りレバーを「0」の位置にしてください。
- 自動送り装置を同時使用すると、本機故障の原因となります。
- コンベア速度、7、8は洗車時、コンベアを床の上（表）と床の下（裏）を早く逆にするときに使用してください。散布作業には使用しないでください。

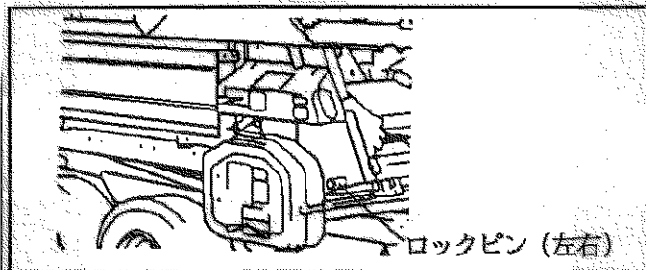
運転に必要な装置の取扱い

3. マニアパンの取扱い

◆マニアパンを開くときは

ビータに詰まった堆肥・異物などを取除くときや、本機を清掃・洗浄するときに開いてください。

開く手順は左右のロックを外すとマニアパンが開きます。



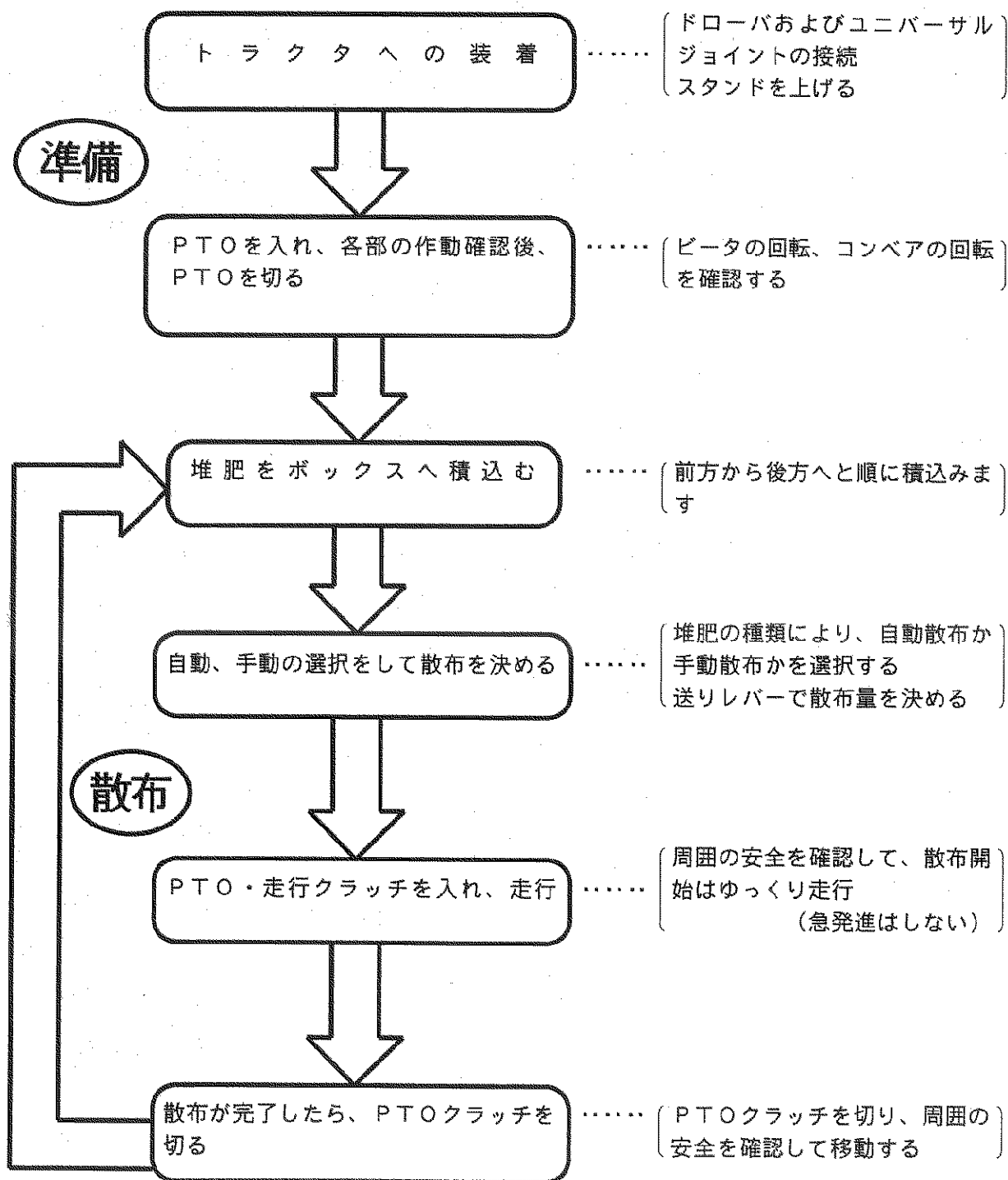
⚠ 注意

堆肥の中に石や木片・氷などの異物が混入していると、コンベア速度が極端に遅くなったり、停止することがあります。

必ず積込み前に異物を取除いてください。

作業方法

1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するとき

移動するときは、トラクタのブレーキがきく、安全な速度で走行してください。

注意

下り坂を走行する場合は、トラクタのエンジンブレーキを使用してゆっくり走行してください。

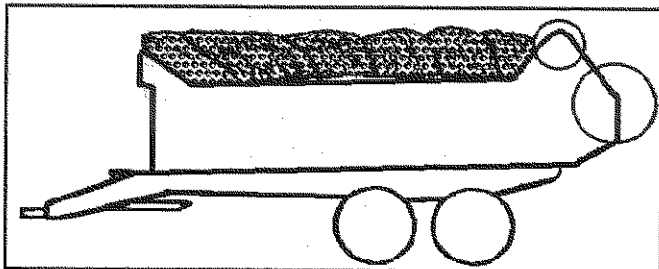


警告

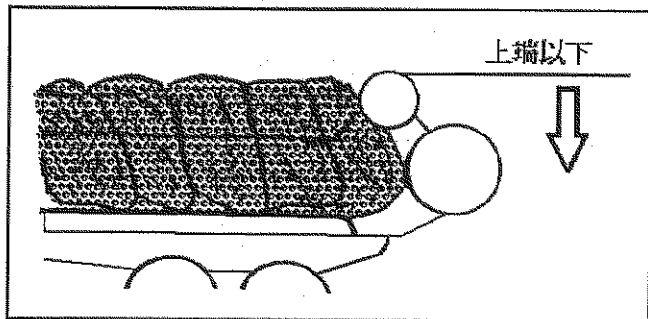
- ・本機を装着しての運転は、まわりの条件に適した速度で行ってください。絶対に急発進・急ブレーキ・急ハンドルは行わないでください。
- ・旋回するときは、重心の変化や機械の長さ、幅に十分注意して運転してください。

3. 堆肥の積み込み方法

- ◆前の方から順序よく積み込みしてください
堆肥を積み込むときは、前方から後方へと順序よく積み込むと、散布時に堆肥がほぐれやすくなります。



- ◆ビータの上端まで積み込みしてください。
堆肥の積み込み高さは、ビータの上端以下とし、上面全体を平らにならしてください。



注意

堆肥を平らにならすとき、上から押さえつけないでください。
堆肥を圧縮すると、散布機能が悪くなります。

- ◆石などは、取り除いてください

堆肥に石や木片などの異物が混入していると、本機損傷の原因となります。積み込み作業中に発見したら、必ず取り除いてください。



警告

堆肥を積み込むときは、PTOを切ってエンジンを停止させてから積み込み作業をしてください。

4. 散布できない物は

- ◆土・砂などは散布できません

堆肥以外に粒状肥料は散布できますが、下記の物は散布できません。

土・砂・石・砂利・ブロック類
木材類・氷・鉄屑

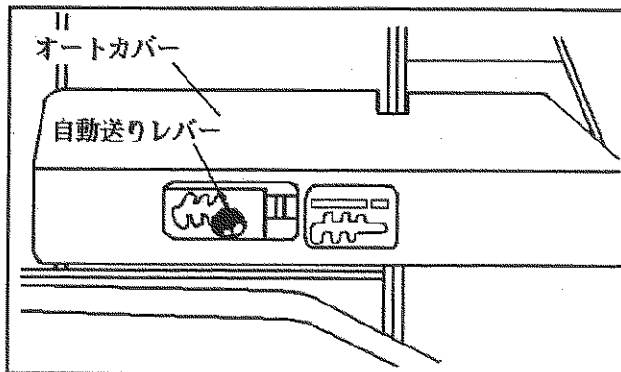
5. コンベア送り装置の調整

堆肥の種類により、自動送り装置を使用するか、手動送り装置を使用するかを選択してください。(P12参照)

- ◆自動送りを使用するときは

通常散布する場合は、自動送り装置を使用します。

送りレバーを、希望する散布量の位置に入れてください。



詳しくは自動送り装置の取扱いの項を参照してください。

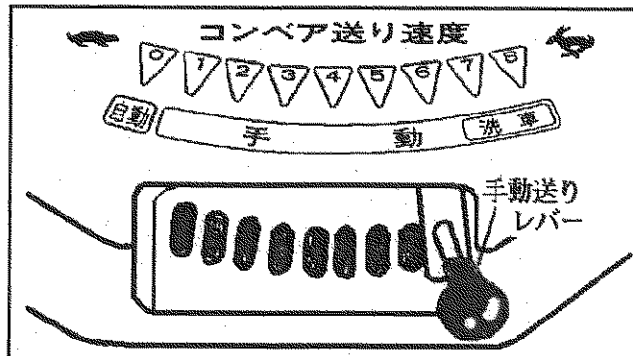
作業方法

◆手動送り装置を使用するときは

①手動送り装置は、下記の散布作業を行うときに使用してください。

- ・軽い堆肥（パーク、スラリー状）
- ・堆肥の量が少ないとき
（メインビータ以下）
- ・微量散布をするとき
（送り速度が1～2）

②手動装置の送りレバーを、希望するコンベア送り速度の位置に入れてください。

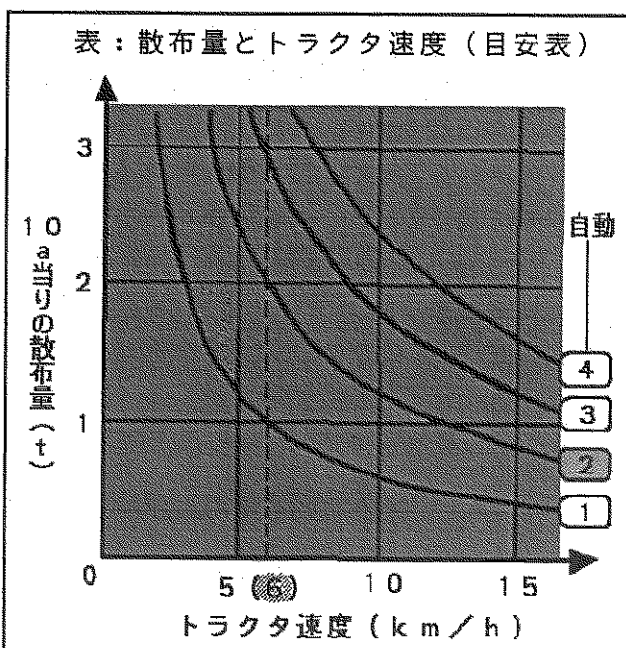


詳しくは、『手動送り装置、取扱い』の項を参照してください。

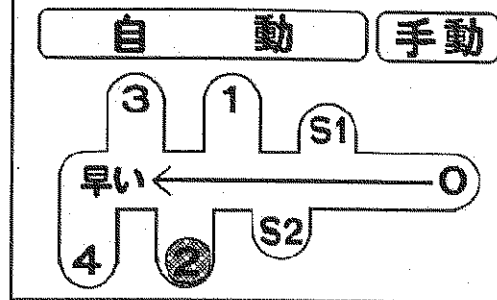
6. 散布量とトラクタ速度について

◆散布量設定のしかた

自動送り装置を使用して散布する場合、下表を目安に希望する散布量より、トラクタの車速と自動送り装置の送りレバーの位置を設定してください。



自動送り装置レバー位置



・S1、S2はスラリー状の堆肥を散布するときに使用します。

・散布量目安表「散布量とトラクタ速度」は本機後方の左側（後方視）に貼付てあります。

散布量は堆肥の種類によって異なりますので、参考値としてお考えください。

《例》10a当り2トン散布したい場合は、レバー位置2でトラクタ車速6km/hとなります。

7. 散布方法について

◆作業手順

- ①エンジン回転数を低速にして、PTOクラッチを入れる。
- ②堆肥がビータまで送られ、飛散したら走行クラッチを入れ、設定速度で走行してください。

注意

エンジンを高速回転させ、PTOクラッチを入れるとシェアボルトがせん断します。必ずエンジン回転数を低速にしてからPTOクラッチを入れてください。

注意

散布作業を始めるときは、後方に人や動物のいないことを確認してください。

◆PTO回転速度

散布作業を行うときは、PTOの回転速度は500～540(最大)min⁻¹(rpm)で行ってください。

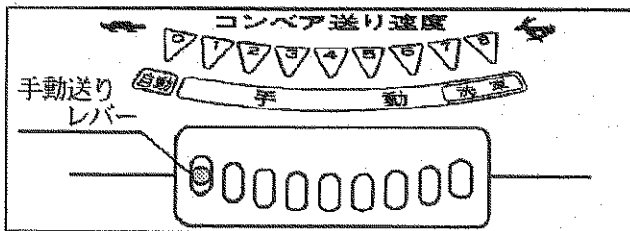
作業方法

◆通常散布を行う場合は

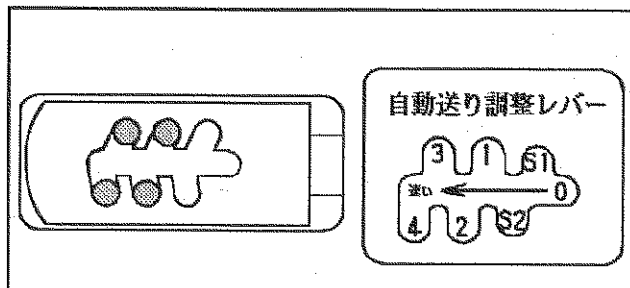
①自動送りのときは

手動送り装置の送りレバーを「0」の位置にして、自動送り装置のレバーを1～4の位置で行います。

手動送りレバーの位置



自動送りレバー位置1～4を使用する



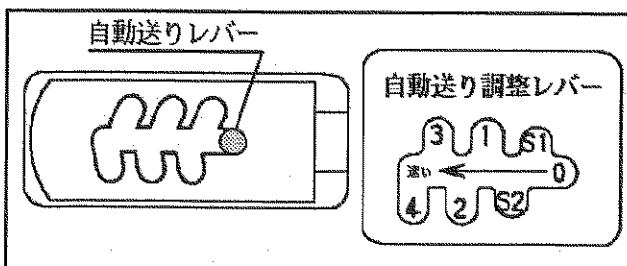
◆微量散布を行う場合は

手動送り装置を使用して行います。

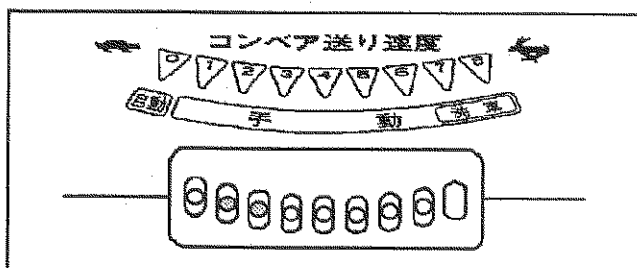
(自動送り装置は使用しないでください。)

自動送り装置の送りレバーを「0」の位置にして、手動送り装置のレバーを1～2の位置で行います。

自動送りレバーの位置



手動送りレバーの位置



◆スラリー散布を行う場合は

スラリー散布をするときは、ゲートアタッチメント（別売）を装着して行ってください。散布方法は前項の方法で行います。

8. 傾斜地での作業

◆必ず直角走行・急ハンドル禁止

等高線に対して直角走行し、旋回は速度を落とし、急ハンドルは切らないでください。

警告

斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は横転の危険がありますので決して行わないでください。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。



警告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたり危険です。
- 点検整備をするときは油圧を切り、エンジンを停止させて回転が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照ページ	チェック
1	コンベアチェーンの張り調整	200mm	19	
2	ビータ駆動チェーンの張り調整	たわみ量 10~15mm	19	
3	ビータのヒモなどの巻き付き	ヒモ、草巻き付きを除去	—	
4	ビータ羽根の摩耗	交換する	—	
5	ビータ羽根取付けのゆるみ	増締めする	—	
6	ミッションオイルの給油	ギヤオイル #90	26	
7	コンベア駆動ミッション	作動油補充 (ISO VG22~46)	26	
8	予備シェアボルト	不足のときは補充	20	
9	タイヤ空気圧	不足のときは空気補充	20	
10	タイヤハブナットのゆるみ	増締めする		
11	その他各部注油、グリス	各部への給油参照	21~22	

以上について異常が認められない場合は、PTO回転速度 $500 \sim 540 \text{ min}^{-1} (\text{rpm})$ まで徐々に上げ、1~2分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

点 検 メ モ

簡単な手入れと処置

注意

チェーンは特に初期伸びをします。初めての使用から10時間後は下記に従って、張り調整を行ってください。

警告

- ①チェーンの張り調整や、各部の調整をするときは、P.T.O.を切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類は、必ず取付けてください。

1. コンベアチェーンの張り調整

◆調整のしかた

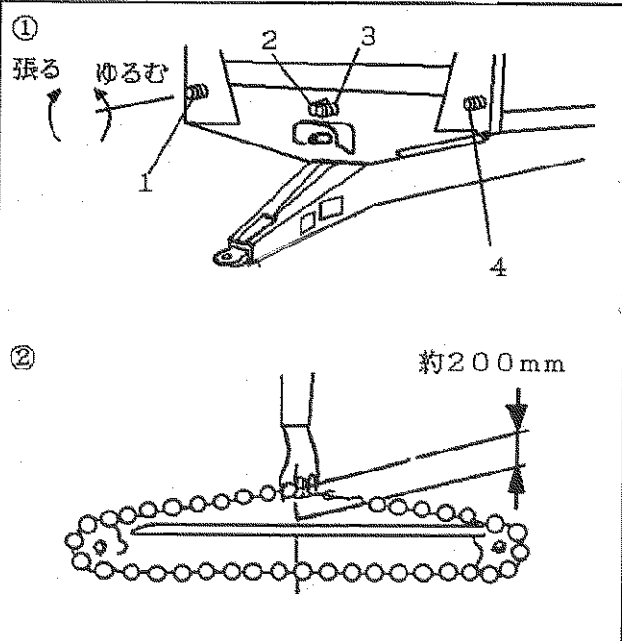
コンベアチェーンが伸びたときは、次の要領で調整してください。

- ①下図に示す4本(DH5070)の張り調整ボルトを右に回し、左右均一に張ってください。

※ DH4070 は2本(下図 1と4)です。

●調整ボルト

- ②コンベアバーの中央部を手で持ち上げて床面との距離を約200mmになるよう調整してください。



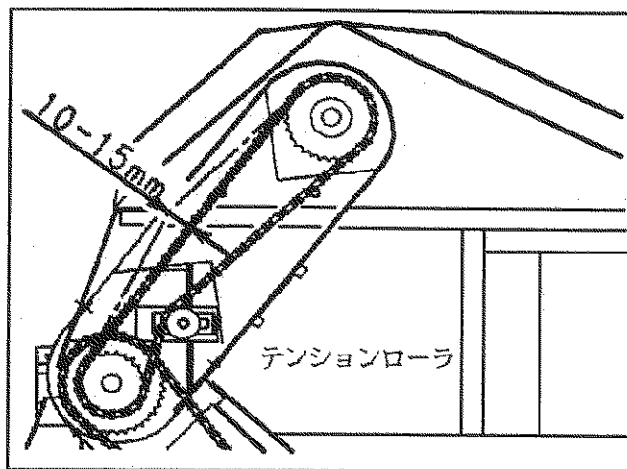
注意

コンベアチェーンは必ず左右均一の張り調整をしてください。

2. サブピータ駆動チェーンの張り調整

◆調整のしかた

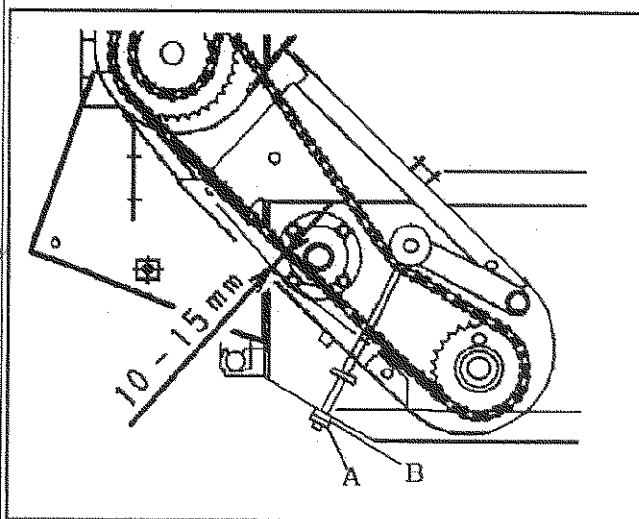
テンションローラを締め付けているボルトを少しゆるめ、テンションローラを押し込み、たわみ量を10～15mmに調整しボルトを締め付けてください。



3. メインピータ駆動チェーンの張り調整

◆調整のしかた

テンションスプリングを締め付けているナットAを少しゆるめ、ナットBを締め上げてたわみ量を10～15mmに調整し、ナットAとナットBでロックしてください。



簡単な手入れと処置

4. シェアボルトの交換

シェアボルトは本機後方、駆動軸の左右2ヶ所に組入れしております。

過負荷がかかったとき、ボルトがせん断されコンベアとピータの回転が停止します。

◆シェアボルトのサイズ

●機体左側（後方視）コンベア駆動用
ボルト M8×40（8T）半ネジ 1本

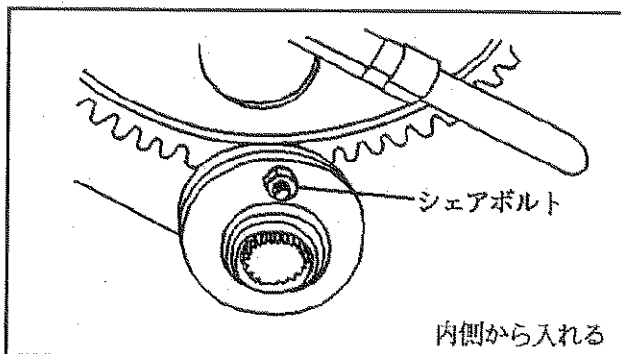
●機体右側（後方視）ピータ駆動用
ボルト M10×35（8T）半ネジ 1本

注意

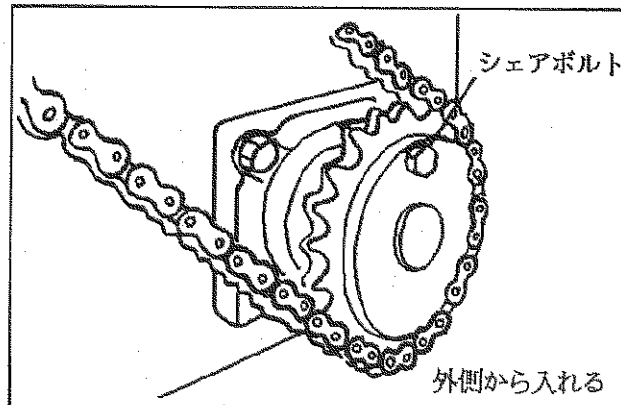
シェアボルトは上記指定のボルト以外は絶対に使用しないでください。

◆ボルトがせん断したら交換してください
せん断したボルトを除去してシェアピンフランジを回転させ、取付けしやすい位置にしてボルト穴を合わせてからシェアボルトを入れ、バネザガネ・ユルミドメナットで締付けてください。

●コンベア駆動用



●ピータ駆動用



5. 洗浄について

◆本機を洗浄するときは

P.T.O.を切りエンジンを停止させて、回転部が止まってから洗浄してください。

◆コンベア裏面を洗浄するときは

- ①エンジンを始動し、P.T.O.を入れ、コンベア送り装置を手動にする。（P12参照）
- ②コンベア速度を7～8にして、コンベアの床上（表）と床下（裏）を入れ換える。
- ③コンベアが入れ換ったら、P.T.O.を切りエンジンを停止させて、回転部が止まってから洗浄してください。

警告

点検や清掃・洗浄を行うときは、必ずP.T.O.を切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。

これを怠ると重大な傷害事故につながるおそれがあります。

6. タイヤの点検・修理

◆装着のタイヤと空気圧

本機に装着のタイヤは、チューブ入りタイヤを装備しております。

空気圧は下記のとおりです。定期的に空気圧を点検してください。

11L-15 8プライ

常用タイヤ内圧 260kPa(2.6kg/cm²)

警告

- タイヤに関係する作業を行う場合は、安全な場所に本機を降し、必ず車止めをしてから行ってください。
- タイヤおよびホイールに関する修理は、十分な設備をもつタイヤショップなどの専門の所に依頼してください。

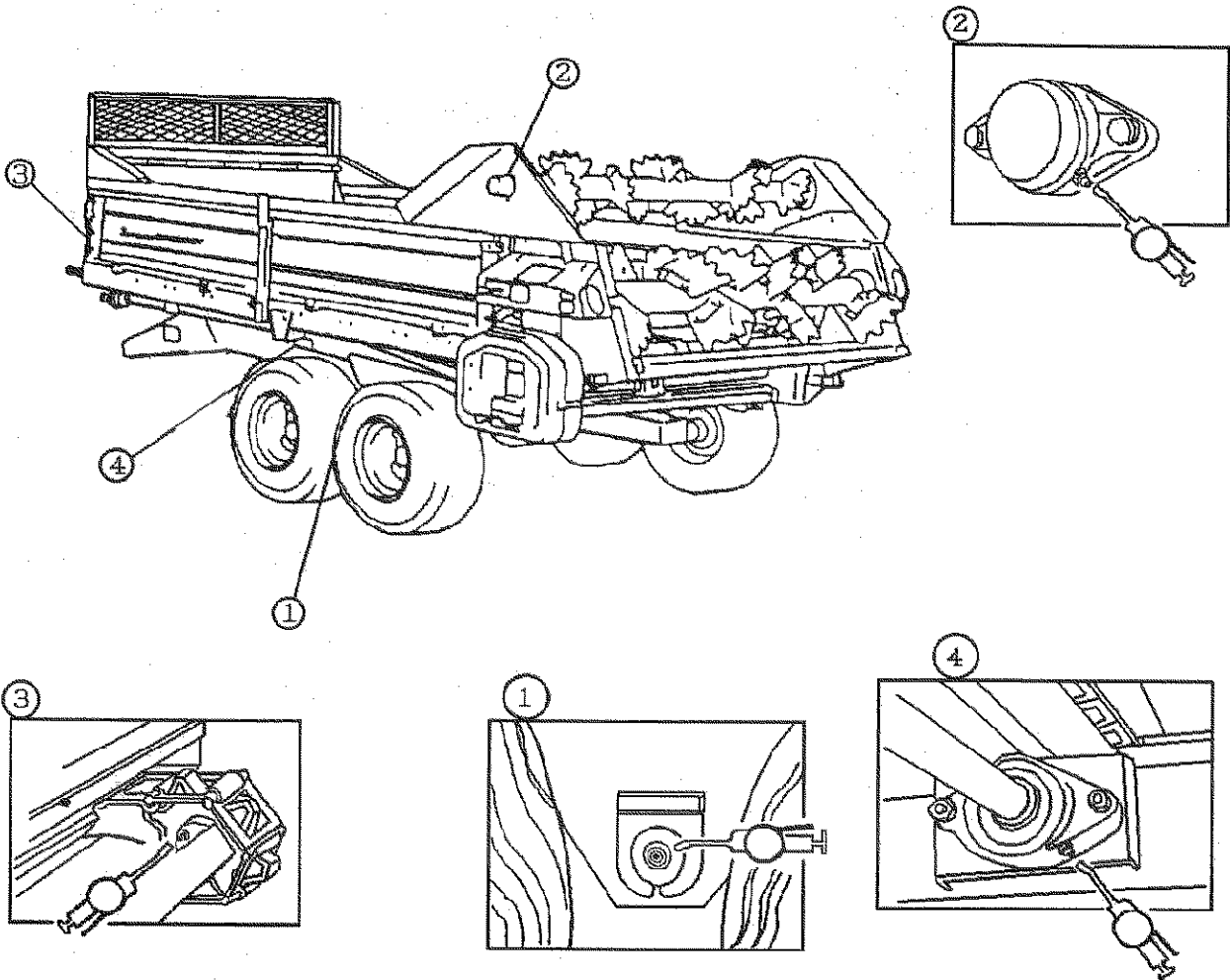
簡単な手入れと処置

7. 各部の注油・グリスアップ

図表に従って各部にグリスアップを行ってください。



グリスアップ



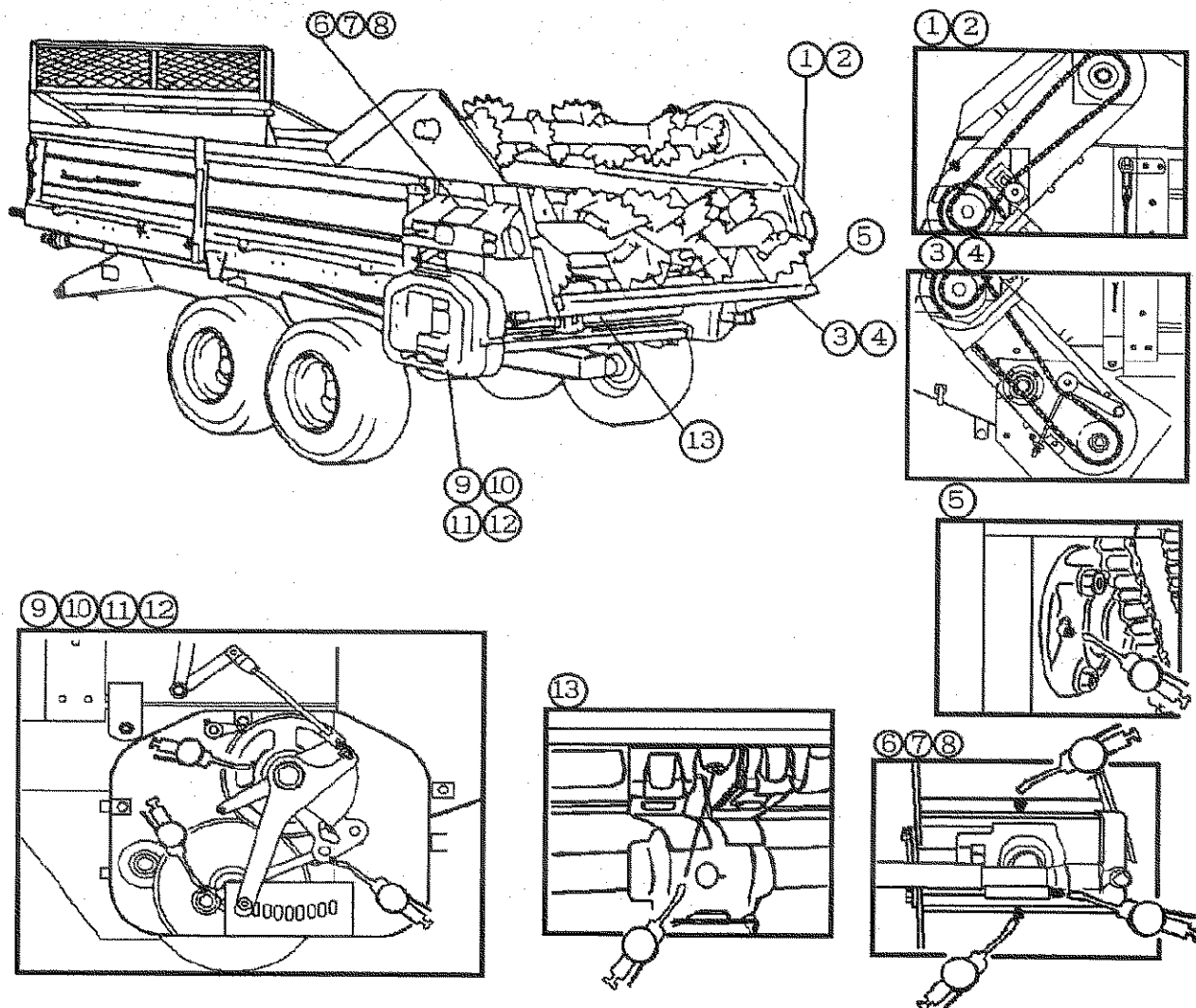
図番	場	所	グリスアップ量	図番	場	所	グリスアップ時間
①	タイヤとタイヤの間	(タンデムピン	50H				
②	補助ピータ	左軸受	50H				
③	床コンベアの前	スプロケット	50H				
④	センターシャフトの	中間軸受	50H				

簡単な手入れと処置

図表に従って各部にグリスアップを行ってください。



グリスアップ



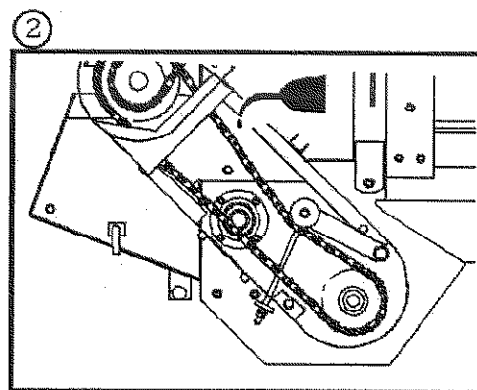
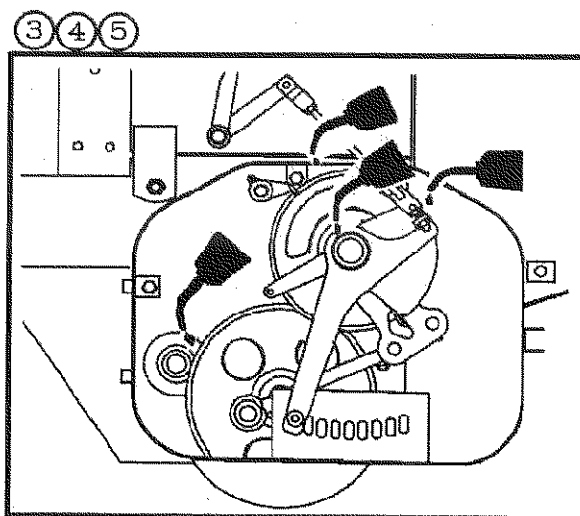
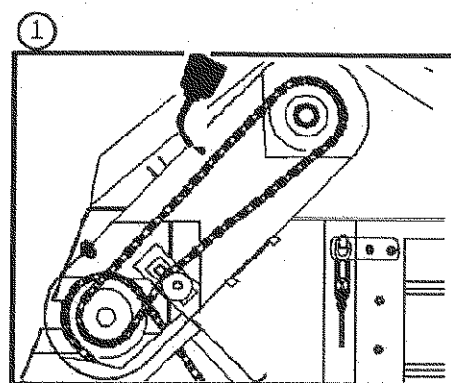
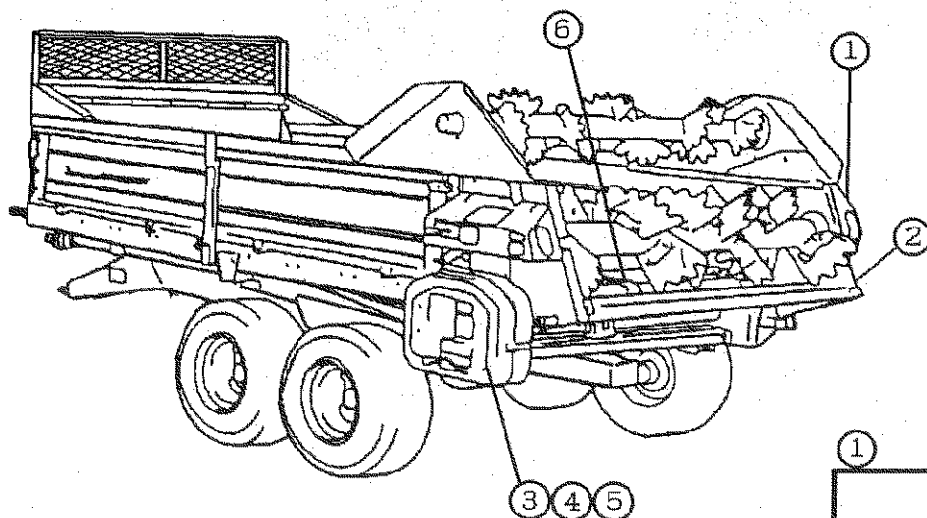
図番	場 所	グリスアップ量	図番	場 所	グリスアップ量
①	メインビータ右軸受	50H	⑪	コンベア軸左軸受	50H
②	補助ビータ右軸受	50H	⑫	送り扇の回転部	50H
③	チェーンテンション支点	50H	⑬	センターメタル	50H
④	ミッション横軸右軸受	50H			
⑤	コンベア駆動軸右	50H			
⑥	メインビータ左軸受	50H			
⑦	スライドベアリング上	50H			
⑧	スライドベアリング下	50H			
⑨	クランクロッド上	50H			
⑩	クランクロッド下	50H			

簡単な手入れと処置

図表に従って各部に注油を行ってください。



オイル 給油



図番	場 所	注油時間	備 考
①	補助ピータ駆動チェン	20H	
②	メインピータ駆動チェン	20H	
③	クランクギヤ・ピニオンギヤ	20H	
④	ラチェットギヤ	20H	
⑤	スライド部分	20H	
⑥	コンベアチェン		長期格納時：廃油

簡単な手入れと処置

B. 長期格納時の手入れ

- 水洗いして付着した堆肥や泥などを落とし、巻き付いたヒモや草などを取り除いてください。
- 乾燥後は、回転部・摺動部やチェーン類には十分注油し、さびないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、塗料を塗ってさびないようにしてください。
- 各部のボルト・ナットがゆるんでいないかを確認し、ゆるんでいるときは締めてください。
- 格納するときは、雨やほこりのかからない屋内の平坦な場所で保管してください。

不調診断

不 調 内 容	診 断	処 置	参照ページ
●コンベアが動かない	●コンベア駆動部のシェアボルトが切断した ●コンベアがゆるんでいる ●コンベアチェーン・バーの切損	●シェアボルトを交換する ●混入した異物を除去する ●コンベアの張り調整をする ●チェーン（＃78）・バーを交換する	19 18
●ビータが回転しない	●ビータ駆動部のシェアボルトが切断した	●シェアボルトを交換する（M10×35 8T半ネジ） ●混入した異物を除去する	19
●自動送りが速くなる	●堆肥が軽い ●送り爪（スライド部）が切損している	●手動送りに切替える ●送り爪を交換する	12
●自動送りが遅い	●堆肥に異物が混入している ●ビータの羽根が摩耗している ●スライドベアリングの動きが悪い ●ビータ端面に堆肥が詰まっている	●異物を除去する ●新品と交換する ●サビなどを除去し、グリスアップする ●詰まった堆肥を除去する	12
●散布状態が悪い（バラつく）	●ビータの羽根が摩耗している ●堆肥が軽い （自動送りのとき） ●異物が混入している	●新品と交換する ●手動送りに切替える ●異物を除去する	12
●油圧ジャッキの動きが悪い	●作動油が不足している ●リリースバルブより油もれしている	●作動油（ISO. VG22～46）を補充する ●リリースバルブのシールを交換する	25

付表

1 主要諸元

品 名		マニアスプレッダ	
型 式		DH4070	DH5070
装 着 方 法		ドロバけん引式	
駆 動 方 法		PTO駆動 (回転速度 500~540 min ⁻¹ (rpm))	
適 用 ト ラ ク タ		29.4~58.8 kw (40~80 PS)	33.1~58.8 kw (45~80 PS)
機 体 寸 法	全 長	5,650 mm	5,650mm
	全 幅	2,210 mm	2,210 mm
	全 高	2,200 mm	2,200 mm
質 量		1,610 kg	1,700 kg
散 布 幅		3,000 mm	
堆 肥 送 り 機 構		自動(0~4段), 手動(0~6段、洗車時7~8段)	
コンベアチェン・配列		#78・2列	#78・4列
車 輪 配 列		1軸4輪(タンデム式)	
タ イ ヤ サ イ ズ		11L-15 8PR	
最 大 積 載 量		5.2m ³ (3,800kg)	5.7m ³ (4,500kg)kg
作 業 速 度		2 ~ 10 km/h	
作 業 能 率		11 ~ 14 分/10a	
ボ ッ ク ス 寸 法	全 長	4,100 mm	4,100 mm
	全 幅	1,650 mm	1,650 mm
	全 高	520 mm	600 mm
	容 量	3.5m ³	4.0m ³

※この主要諸元は、改良のため予告なく変更することがあります。

2 主な消耗部品

品 名	部 品 コード	備 考
ハネ R	11643 2621 010	
ハネ L	11643 2622 000	
サイドハネ R	11672 2151 001	
サイドハネ L	11672 2152 001	
シェアボルト	01118 0080 400	M 8×40 8T半ネジ
シェアボルト	01118 0100 350	M10×35 8T半ネジ

3 給 油

給 油 箇 所	使用オイル	給 油 量
センターミッション	ギヤオイル #90	0.6 リットル